

(様式例)

令和6年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・生徒の運動に対する興味・関心が高まるよう、授業や行事で運動機会を増やすよう工夫した。
- ・知識や技能の定着、体力の向上、自他への気づきや課題を見つける力を高めるよう工夫した。
- ・課題を発見する力を身につけさせ、生涯スポーツの基礎を築くきっかけとした。

(2) 課題

- ・体力(技能)面で、個々の開きが大きい。継続的に運動に取り組み、体力向上と自信を高めさせる授業を展開する。
- ・教師が指導する時間、生徒同士で活動する時間(教え合いなど)のバランスを取り、人と交流することの大切さや話を聴く態度を養わせる。
- ・新体力テストの結果を踏まえた授業内容や取組を検討する。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年			
第2学年			
第3学年			

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な身体能力を高める取組をしたが、運動に親しむという観点で指導することが多かった。 ・種目に応じた基礎技能が身についた種目と技能が十分身につかなかった種目もみられた。	・学習カードやノートを使用し、自分の課題を見つけるよう指導した。その考えを他者に伝える力を高める必要がある。 ・ICTを活用することと、それによってどんな力がつくか指導する必要がある。	・運動に対する興味・関心が高い生徒が増えてきた。 ・グループ活動の場面でどのような活動するか、困っている生徒も一定数いる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動、健康・安全に関する知識や理解が十分な生徒とそうではない生徒との差がある。 ・運動に応じた基礎技能が身についた種目もみられるが、個人差が大きい。	・学習カードやノートを使用し、自分の課題をみつける取り組みを続ける。 ・自分の考えをまとめる力や、まわりの人に伝える力を伸ばし、健康・安全や技能について考えさせる。	・運動に対する興味・関心が見られ、意欲をもって授業に参加している生徒が多い。 ・タブレットなどのICT機器を利用し、自主的に学習に取り組む生徒も多く見られる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動・健康・安全に関する基礎知識や理解が十分な生徒と十分ではない生徒との差が大きく開いている。 ・運動に応じた基礎技能が身についた種目もみられるが、課題解決にむけた、技能が十分身につかなかった種目もみられた。	・学習カードやノートを使用し、自分の課題をみつける取り組みを続けてきた結果、活動の仕方を理解し、自分の考えをまとめる力や、まわりの人に伝える力など、学年が上がるにつれ身につけてきている。	・運動に対する興味・関心がみられ、意欲をもって授業に参加している生徒が多い。タブレットなどのICT機器を利用し、主体的に学習に取り組む生徒も多く見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の合理的な実践や個人生活に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践していくため、運動、体力の必要性を理解させ、基本的な技能を身につけさせる。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、健康・安全に関する課題を発見し、その解決を目指して思考し判断して他者に伝えることが出来るようにさせる。	・運動の楽しさや喜び、自己の健康の保持増進や回復についての学習に、自主的に取り組む事ができるようにさせる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の合理的な実践や個人生活に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践していくため、運動、体力の必要性を理解させ、基本的な技能を身につけさせる。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、健康・安全に関する課題を発見し、その解決を目指して思考し判断して他者に伝えることが出来るようにさせる。	・運動の楽しさや喜び、自己の健康の保持増進や回復についての学習に、自主的に取り組む事ができるようにさせる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践していくための理論について理解させ、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけさせていく。 ・個人生活における健康・安全について理解させるとともに、基本的な技能を身につけさせるようにする。	・自己や仲間の課題や個人生活における課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組みや目的に応じた運動の組み合わせを工夫させるとともに、それらを他者に伝えることが出来るようにさせる。	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、運動の合理的な実践に自主的に取り組む事ができるようにさせる。 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組む事が出来るようにさせる。